

群馬大学工業会（同窓会）・東海連合支部・見学会（特別編）

2024-5-3 作成

場所：三洋貿易・瑞浪展示場（E V車の分解部品展示場）（岐阜県瑞浪市釜戸町 3 3 6 1 - 3）(旧釜戸中学校)

日時：2024年4月23日(火)13:30~14:40

参加者(敬称略)：阿部桂三（修 S46S-三重）、三浦俊昭(S39W)、石川正樹(S39C)、鶴岡徹雄（S44M）、倉林弘行（S44C-平塚）、杉島栄一（S55E）、山田章博（修 H16B）、村岡睦(修 H15M)、清水堪蔵（S49C）の9名

*倉林さんは平塚支部から駆けつけてくれた。山田さんと村岡さんは若手の会のメンバー。

見学会の内容：三洋貿易(株)は米国 Caresoft 社の総代理店となって廃校となった旧釜戸中学校の校舎、体育館に E V車 16 台の分解部品約 9 万点と E V車数台を所狭しと展示している。部品の見学の前に、ガイド役の伊藤さんから、20 分程サービスの概要をプレゼンしてもらった。実際展示場で、実物を手に取ってみることも出来るが、C Tスキャンで、車の内部、部品の内部を可視化したものを見ることが出来る事が分かった。又膨大な部品のデータを提供できるとの事。部品の数は膨大で、見るだけでも大変な作業となった。E V車の最新の情報が分かるので、車にかかわる人（モノづくりに関わる人）には、大変参考になる。現役の3名も参加してくれたのは良かった。元三菱ケミカルに勤務していた阿部さんは、現役の時に見ていたら、もっと良かったのにと感想を漏らしていた。

その他感じたこと。

- (1) 旧釜戸中学校は、廃校になったとの事で、古い木造の校舎を想像していたが、20年前に建てられて鉄筋コンクリートの建物でした。火災に遭う20年前に建てられたが、生徒数が79人に減ってしまい、廃校になったとの事。釜戸駅の周りには、多くの立派な家が建ち並んでいたが、空き家も多く見られた。日本の地方の町の現状を見た感じだった。
- (2) 交通の便が良いとは言えない、場所を三洋貿易はうまく利用して、世界（アメリカ、中国、ドイツ）の最新のE V部品情報を発信している。全国でもこのような展示場は無く、北は北海道から、南は九州から見学者が訪れているとの事。
- (3) 実際のビジネスで忙しい中、案内して頂いた、三洋貿易の伊藤さん、光部さんには感謝を申し上げたい。



瑞浪展示場（旧釜戸中学校）

参加者の集合写真

展示部品（体育館）

(懇親会)

名古屋駅近くの風来坊（居酒屋）で、16:30から約2時間、懇親会を行った。

参加者は、三浦さん、阿部さん、鶴岡さん、倉林さん、村岡さん、清水の6名。

(文責：清水堪蔵、東海連合支部長・世話役)